



平成 26 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 久光製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 中富 博隆
(コード番号:4530 東京、名古屋、福岡)
問合せ先 執行役員 広報室室長 金成 俊英
(TEL 03-5293-1732)

**HP-3000(経皮吸収型特発性レストレスレッグス症候群治療剤)の
国内第Ⅱ相臨床試験結果のお知らせ**

久光製薬株式会社(本社:佐賀県鳥栖市、代表取締役社長執行役員:中富博隆、以下「久光製薬」)は、経皮吸収型特発性レストレスレッグス症候群治療剤(開発コード:HP-3000、一般名:ロピニロール塩酸塩、以下「本剤」)の国内第Ⅱ相臨床試験の結果を得ましたので、お知らせ致します。

中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群患者を対象に、本剤を1日1回投与した際の有効性および安全性について、プラセボを対照に検討しました。その結果、有効性の主要評価項目で、本剤の有効性が確認されました。また、安全性に関して重篤な有害事象は認められませんでした。

本結果を踏まえ、第Ⅲ相臨床試験で有効性の検証を行うとともに、長期投与時の安全性および有効性を確認します。

本剤は、久光製薬のTDDS(Transdermal Drug Delivery System:経皮薬物送達システム)技術を用いて開発した全身性のテープ剤です。安定した血中薬物濃度を維持し効果を持続させることで、特発性レストレスレッグス症候群に対する治療の新たな選択肢となることを期待しております。また、パーキンソン病を対象にした第Ⅲ相臨床試験についても今年度中の開始を予定しています。

今後、平成27年度中の第Ⅲ相臨床試験開始を目指してまいります。

以上